

令和7年度 事業計画

自 令和7年2月 1日

至 令和8年1月31日

1. 工芸美術に関する展覧会（公募）の開催

・第63回 日本現代工芸美術展

会 期：令和7年4月18日（金）～4月24日（木）

休館日：4月21日（月）

会 場：東京都美術館（東京都台東区上野公園8-36）

授 賞：内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・東京都知事賞・NHK会長賞

現代工芸理事長賞・審査員特別賞・現代工芸本会員賞

現代工芸大賞・現代工芸賞・現代工芸新人賞

そ の 他：東京会場にて、授賞式及び懇親会を開催

巡 回 展：東京会場終了後、石川、愛知、神奈川、京都の4会場を巡回予定

2. 工芸美術に関する講演会・研究会等の開催

・ギャラリートークの開催

日本現代工芸美術展の会期中に、本会員による作品解説（作品制作意図・素材・技法等を詳しく解説）

・テクニカルパネルの展示

日本現代工芸美術展の会場内に、作品の素材、技法等を解説した写真パネルを展示する。展示作品と連動させることで来場者の理解を深める

・講演会の開催

開催日：令和7年4月18日（金）

会 場：東京都美術館 講堂（東京都台東区上野公園8-36）

3. 機関誌及び工芸美術に関する図書の発行

・「現代工芸ニュース」の発行

会員・出品者・美術関係機関・一般等に頒布

・日本現代工芸美術展図録の作成

全ての陳列作品をオールカラーで収録する

・日本現代工芸美術展ポストカードの作成（役員・審査員・受賞者）

4. 事業の広報活動

・第63回日本現代工芸美術展 リーフレットの作成

・第63回日本現代工芸美術展 ポスターの作成

・ホームページによる事業の発信

5. デジタル・アーカイブ

創立60周年を機にデジタル・アーカイブ事業が開始された。60年を越えて工芸美術を牽引してきた先人達の歴史を後生に伝え、研究などに有効活用できるようデータを整理することを目的とする。

- ・ 図録、現代工芸ニュース、過去の写真等の資料をデジタル化し保存する。
また、保存済みデータの活用方法についてデータベース構築等を視野にした検討を行う。
- ・ 作家個人データベースの登録等については各地方会において拡充してきたので、今後情報更新を含めた管理体制の確立を行う。また、外部への発信方法の検討を進める。

6. その他定款の目的を達成するために必要な事業

現代工芸美術運動の展開については各地方作家群による地方ごとの活動を含め、様々なテーマを設定し研究会を開催する

7. 管理等

- ・ 定時総会、理事会の開催（常務理事会2回、理事会4回を予定）

以上